

62・警告ラベル

1

注意

点検、調整、清掃時には必ずエンジン停止し、キーを抜くこと。

176774

2

警告

残りの薬剤や、洗浄液は自分のは場内で、薬害の無い様に処理すること。

176769

3

警告

飲料水源および生物を飼育している湖沼からの直接給水は絶対に行わないこと。

177226

4

注意

薬剤の取扱い注意
使用する薬剤の取扱説明書を良く読んで正しく使用すること。

177239

5

注意

●走行前には駐車ブレーキを解除すること。
●駐車時には、必ず駐車ブレーキを掛けること。

176829

6

警告

この機械での一般道路走行はできません。トラック等に搭載して運搬すること。

176779

7

注意

安全に作業するために取扱説明書をよく読んで機械の使い方を覚えてから使用すること。

176779

8

注意

バッテリー充電、点検調整時には必ずバッテリーコードマイナス極側を外すこと。

176789

9

警告

洗浄液・容器の取扱い
●使用後の機体散布装置は、十分に洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
●空容器は、安全な場所に廃棄すること。

177227

10

警告

ほ場以外の運転時は必ず左右ブレーキをブレーキコネクタで連結すること。

188529

11

警告

服装は、体にあつたものを着用して下さい。保護衣・保護マスク・保護メガネ・ゴム手袋・作業靴（長靴）等を用意し、安全な服装で作業すること。

177240

12

警告

排気ガスは、人体に有害です。室内や換気の悪い所で運転しないこと。

177411

13

注意

・ノズルから薬剤が噴出します。エンジンが運転中は、噴頭部に近づかないこと。
・回転物に巻き込まれるのでカバーを開けたままエンジンを始動しないこと。
・点検、整備するときは、エンジンルーム内の部品が冷えてから行うこと。

177244

14

注意

火気厳禁

軽油を使用すること。補給の際は必ずエンジン停止すること。

177415

15

注意

危険、熱い物がある。

CAUTION

DANGER, never open when hot

16

注意

指を切傷するのでファン、ベルトに触れないこと。

178056

17

注意

1.最大積載量（薬剤タンク満水と付属品積載）以上は積まないこと。
2.乗車定員は1名です。2名以上は乗車しないこと。
3.急加速時（制動時）：急旋回は行わないこと。
4.走行時およびほ場への進入時の整備を行うこと。
5.作業時および傾斜補正時の乗車位置は、低重心（制動時）とする。
6.降車時は必ずエンジンブレーキを併用すること。
7.運転席から降りる時は、必ずエンジンを停止しキーを抜くこと。
8.降車時は必ず駐車ブレーキとタイヤ止めを併用すること。
9.危険を感じた時は、作業を中止すること。

176770

18

警告

トラックへの積み・降ろし時は次のことを必ず守ること。

1.平坦地で助手の立脚補助のもとで行うこと。
2.本機の両側の人を近づけないこと。
3.アームは十分な強度と長さ、信頼のあるすべり止め付きのものを使用すること。
4.アームの傾斜角度は、15度以下のこと。
5.薬剤タンク空にして、低速で積み・降ろしを行うこと。
6.積み・降ろしの途中でエンストしたときは、取扱説明書に記載されている方法で、対処すること。
7.積み込んだら、エンジンを停止し、変速レバーを中立以外に入れ、その機械室ブレーキを掛け、指定の場所にロープをかり本機を固定すること。

ほ場への出入りには、次のことを必ず守ること。

1.ほ場への出入りは低速で、傾斜に対し直角に進入すること。
2.斜め進入は、転倒の危険があるため絶対に行わないこと。
3.ほ場への進入角度は45度以内とし、軟弱な場合は、小石やコンクリート等で地面を固め進入路を整備すること。

178031

19

注意

調節リングの確認

風量調節終了後、次のことを必ず行うこと

1.風量調節ダイヤルが、OFFになっているか確認すること。
2.調節リングを回して、ファンを動かすか確認すること。また調節リングを動かす音が、ずれているか確認すること。
3.また調節リングを動かす音が、目視確認が正常か確認すること。

177344

20

注意

風量調節時に、固定用ナットは、1回転以上ゆるめないこと。

177333

※2001年11月～

21

警告

バッテリーが破裂（爆発）する恐れがあるので、バッテリー液量が不足した状態での使用・充電はしないこと。